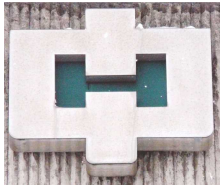


教育目標 「豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒」

重点目標 「豊かな心 確かな学力 健やかな身体」



あ さ ひ こ
朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成29年 12月14日(木) 第19号

著・編 校長 加藤雄一郎 (TEL 66-2058)

「人権を考える集会」 ～学年越えて 真剣に～

生徒会主催の「人権を考える集会」が6日(水)行われました。生徒会重点活動の1つである「熱く温かい畑中」の活動の一環として、より一層他人への思いやりや温かい気持ちをもてる畑野中にしたい、いじめがない人権が守られる畑野中にしたいと企画されました。

スタート段階から、1・2・3年男女混合のグループで小さな円を作って椅子に座りました。まず、生徒会本部が分担して、「わたしのいもうと」(松谷みよ子:文、味戸ケイコ:絵)という絵本を朗読しました。いじめを受けた妹とご家族が悲しくつらい思いで過ごした日々が伝わってくる話です。スクリーンには絵本が映し出され、生徒会の心情に訴える朗読を私も胸が詰まる思いで画面を見ながら聞きました。全校生徒も静寂の中、真剣に聞き入っていました。

その後、問いかけます。①「妹さんは、なぜいじめられたのでしょうか?」②「妹さんの事例は、どうしたら防ぐことができたのでしょうか?」縦割り8・9人のグループでの話し合いが始まりました。3年生がファシリテーターを務め、様々な意見が出てきました。「言葉がおかしかったからいじめられたのではないか」「相手の気持ちを理解できない人がいたから」「言葉がおかしくたって、いじめる理由にはならない」等々、活発に意見が交わされました。そして、1年生の代表が①について、2年生代表が②について、全11グループが意見を述べました。

さらに、各グループでいじめを追放し、人権のある畑野中を創るための人権宣言作りの活動に入りました。学年男女の枠を越えて、いじめがない、人権を尊重する畑野中にしていく“自分たちの誓い”を考え始めました。3年生が上手にリードし、キーワードや思い、必要なことを引き出して、標語のようにしていきました。短い時間だったにも関わらず、ほとんどのグループで工夫された宣言文が書き出されました。平成22年に作られた「佐渡市子ども宣言」を参考にしたとはいえ、畑野中らしい力作が揃いました。キーワードを赤字にしたり、大きくしたり、アルファベットの略字にしたり、表現力が高まってきたと感心しました。この後は、生徒会本部が責任を持って、『畑野中人権宣言』にまとめ、2月の生徒総会で提案するとのことでした。

「人権週間」であるこの日、生徒自らが『人権』について考え、しかも全校で3学年交えた中で畑野中人権宣言を考えるととても意義のある集会で、とても素晴らしい活動になりました。

ご家庭でも、お子さんにどんな絵本の内容だったのか尋ねてみてください。集会での様子も聞いてみてください。ご家族で、『人権』について話題にいただければ幸いです。

最後に、各グループから出た『畑野中人権宣言(案)』を紹介します。一つ一つの単語に思いや決意が込められているのを感じます。みなさんはどんな風に感じますか?

- A. 強い勇気をもって、毎日を楽しみ過ごす!!
- B. 畑野中はうれしい時、笑顔でいます。畑野中は悲しい時、信頼できる人に相談します。
- C. 広い心をもって、誰にでも優しく接します。
- D. 誰にでも優しく温かい心をもって接します。
- E. 平和(みんな仲良く) 勇気(良い悪いの判断) 優しさ(人の気持ちにより添う)
- F. 畑中は一人一人の意見を尊重し、思いやりの心をもって、みんなが生活しやすい環境になるようにします。
- G. アンパンマンになろう 正しい判断・勇気をもとう
- H. 相手の立場になって行動し、嫌がることをしない
- I. 全員平等 No Fine No Life
- J. HTN ~Happy 助け合う No いじめ~
- K. 思いやりや優しさを持ち いじめをなくす



【人権集会の感想】

- ・ 班の全員がすごい意見を出していて、すごいと思いました。人権宣言もとてもいいなと思いました。(1年 新井)
- ・ いかにいじめがどんなに悪いことなのかがすごく分かった。(1年 加藤)
- ・ いじめた人はちょっとしたことで、いじめられた人は命にかかわり、命を奪ってしまうことがあるので、絶対やってはいけないということが分かりました。(1年 加藤)
- ・ 人権とは少し難しそうだなと思っていたけれど、話を聞いて身近にあって驚きました。(1年 中村)
- ・ 人権がどれだけ大切なものか分かりました。いじめは絶対にやっちゃいけない。(1年 渡部)
- ・ 命に関わる大切なことを集会にし考えるというのは、とてもいい行事だと思いました。いじめについても真剣に考えることができました。(2年 猪股)
- ・ 人は生まれながらに権利を持ち、その権利はいじめられる権利ではなく、尊重される権利だと思うので、「いじめ根絶宣言」のもと、人権のある学校作りに励んでいきたい。(2年 河治)
- ・ 今まで人権のことは、授業で一人で考えてきたけど、今日はグループになって他の学年の考えも知れたし、人権に対しても様々な考えを持つことができたのでよかった。(2年 河原)
- ・ 生徒会の方が最初に朗読してくれた「わたしのいもうと」の話がすごくかわいそうで、絶対にいじめはしないという気持ちに改めてなりました。(2年 古坂)
- ・ 「わたしのいもうと」を聞いて、みんなに平等に接し、常に相手の立場になって行動したいと思いました。それといじめで命を絶つ人がいることが分かったので、からかったりすることをやめた方がいいと思いました。(2年 中川)
- ・ 絵本のようなことがあっては絶対にダメだと思いました。みんなで話し合って決めたので、とてもいい集会になりました。(3年 高橋)
- ・ 畑中はいじめとかななくて、すごく平和だけれど、いじめをしっかりと考える時間だったので、とてもよかったと思います。(3年 細野)
- ・ いじめる人にとっては遊びでも、やられた人はずっと背負い続けることが分かった。相手の立場になって考えることでいじめはなくせると思った。(3年 丸山)
- ・ 全員で話し合って人権宣言をつくることができてよかった。普段、人権について全学年で考える機会がなかったので、とてもいい活動だったと思う。(3年 中村)
- ・ 今回が初めての企画でしたが、みんな意欲的に取り組んでいたのがよかったと思います。人権についてしっかり学べたと思うし、大切にしていきたいなと思います。(3年 藤原)



「クリーンスクール」 ～学校をきれいに～

生徒会重点活動の一つである「地域に貢献する畑中」の活動の一環として、学校をきれいにする活動「クリーンスクール」が13日(水)放課後、生徒会の呼びかけで実施されました。今年は校外ではなく、校内をきれいにする取組でした。強制ではなく、ボランティア参加にもかかわらず、7割弱の生徒が積極的に参加しました。1・2年生は5限後約1時間、3年生は6限後約40分間作業をしました。

普段なかなか時間を掛けて掃除できない、生徒玄関、社体玄関、各階の流し場、技術室や美術室等の特別教室の机や流し等に絞り、ブラシで磨いたり、ヤスリで磨いたり、床を水拭きしたり、自主的に率先して清掃をしていました。

外は冷たい風が吹く中、流しの水は冷たいままでしたが、協力しながら一生懸命に作業をしていました。さすが、畑野中の生徒だと思わずに思いました。参加した皆さん、お疲れ様でした。畑中を大切にしたい気持ちと、きれいにし使いやすい環境にする意志は、「ベリー・クリーンハート」です。サンキュー！



